

4つの柱	事業名	R7取組実績・成果	R8取組状況
「知る」	介護予防理解促進事業	介護予防に関する基本情報について、幅広く広報・周知・啓発 ・ガイドブックを制作し、65歳、70歳、75歳の方に個別配送及び関係各所に配架（10万部） ・動画を3種類制作し、メトロ御堂筋線車内やJR環状線車内、市内薬局の待合、市役所や区役所等で放映。（YouTube再生37万回以上） ・1月18日にイベント「おとなの健康づくりのススメ」開催。（参加者108人）	ガイドブック65歳以上に全戸配付（38万部） 動画8種類以上制作 大規模イベント2回、 小中規模イベント10回以上開催予定
	骨折予防対策事業	① 閉経に伴い骨量が減少する50歳代の女性に、骨粗しょう症の理解促進・予防啓発のためのはがきを送付（対象者：6,905人） ② 50～79歳の女性で、骨粗しょう症検診の結果、要精密検査と判定されたがレセプトで精密検査の受診が確認できない方に、リーフレットの送付や電話・訪問による保健指導を実施（対象者：112人）	引き続き骨折予防対策事業を実施
	健康状態不明者対策事業	① 2年間健診・医療・介護認定を確認できない65～74歳の方に特性を踏まえた健診受診勧奨はがきを送付（対象者：4,523人） ② 5年間健診・医療・介護認定が確認できない70歳の方（モデル3区）に電話・訪問により状態を把握し、健診受診勧奨（対象者：31人） ③ 2年間健診・医療・介護認定が確認できない77歳の方（モデル3区）に健康チェック票を送付し（対象者：88人）、回答が得られなかった対象者には訪問により状態を把握し、必要な支援につなぐ（対象者：45人） ・令和7年度末時点の受診（健診・医療）介護認定確認 ①82人（1.8%） ②0人（0.0%） ③24人（27.3%）	引き続き、健康状態不明者への対策事業を実施
「始めてみる」 「楽しむ」	アプリを活用した運動・外出促進事業	アプリ「アスマイル」を活用し、ウォーキングやイベント参加で65歳以上の市民の方に大阪市ポイントを付与するなど高齢者の健康づくりを推進（R8年3月末時点65歳以上登録者30,461人）	登録会を多数開催し登録作業をサポート ウォーキング習慣化キャンペーン（6月～12月） R8年8月末時点 65歳以上登録者33,783人
	「調理」トレーニング事業	調理経験の少ない男性前期高齢者へ料理教室を年間6回開催（参加者24人）	4区6教室で全18回開催予定
	「貯筋」トレーニング事業	筋力向上トレーニングによる運動習慣づくりの教室を年間96回開催（参加者76人）	15区60教室で全720回開催予定
	難聴高齢者補聴器購入費助成事業	補聴器購入費用の助成により高齢者の社会参加を促進（R8年3月末時点 助成決定375件）	R8年4月～8月末までの助成決定 315件
	介護予防ポイント事業	施設等での活動にポイントを付与し高齢者の社会参加を促進（R8年3月末時点 活動者508人）	R8年7月末時点活動者 395人
	就労的活動支援事業	・就労的活動（ボランティア活動等）を希望する高齢者に対し、高齢者個人の特性や希望に合った活動をコーディネートすることで、高齢者の社会参加を支援し、介護予防につなげる ・「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」において、福祉専門職のCSWがアウトリーチによる支援を実施していることから、見守り相談室に就労的活動支援コーディネーターを配置し、高齢者に就労的活動をコーディネート（R8年3月末時点 コーディネート件数 延べ1,061件）	R8年7月末時点 コーディネート件数 延べ273件
	民間企業が有する資源等の調査事業	民間企業が有する地域活動に対するノウハウや資源の掘り起こすため、アンケート調査を実施（市内の卸売・小売業から4,300件を抽出。回答数835件）	「飲食、生活サービス、宿泊、レジャー」と「1次産業、2次産業、インフラ産業」の事業者へ調査 6,400件（3,200件×2）調査予定
「広げる」	介護予防に取り組む介護事業者支援事業	令和8年度から本事業を効果的におこなうため、介護予防に取り組む介護事業者支援にかかる調査・分析等を実施	・介護予防取組紹介事業（ホームページ） R8年8月末時点で162件の事業者による登録及び書き込み ・介護事業者インセンティブ事業 R8年8月末時点で55事業者から申込